

認定事例

(災害補償課)

消防祭開会式中に失神し下顎骨を骨折した事案 (公務上)

1 災害を受けた者

A県B市消防団 団員 事案発生当時31歳 会社員

2 災害発生日

平成28年11月13日(日)

3 災害発生状況

災害発生日の時系列的な状況は、以下のとおり。

- 5:00 夜勤を終え、1時間ほど仮眠をとる
- 7:00 消防団詰所着
- 8:00 消防祭会場着、準備開始
作業：おもちゃを紐に吊るす、並べる
気象：晴れ、気温19.4度
会場：アスファルト舗装された駐車場
- 9:00 準備が終わり、6～7人で飲酒を開始(缶ビール1杯、焼酎水割り1杯)
上司は「飲酒するな」とは言わず自己の責任に任せていたとのこと
- 10:00 飲酒をやめ、待機
- 11:00 消防祭開会式
- 11:04 開会式中に意識消失により立位のまま転倒し、下顎を負傷したため、待機していた救急隊に救急要請
- 11:07 呼吸12回/分、脈拍50回/分と除脈、血圧60/51mmHg、SPO2 98%、体温37.0度、瞳孔正常、意識レベル1桁で、アルコール臭が認められたが、ストレッチャーに乗せたころから意識回復

病院に搬送され、心電図・頭部CTでは異常が認められなかったものの、下顎骨の開放骨折の処置が困難なため、大病院へ転院搬送意識消失発作は原因がはっきりせず、迷走神経反射と思われるとの診断

なお、発症前1週間から災害発生日まで、本人に特に体調の変化はなく、今まで倒れた経験もない。

4 傷病名及び程度

下顎骨骨折 入院加療

5 発症前の身体状況等

身体状況：身長159.2cm、体重51.8kg

血圧：115/69mmHg(平成28年5月17日測定)

健康診断：特記事項なし

既往症歴：特になし

【説明】

1 公務遂行性について

これまで基金では、公務中の飲酒については、消防団本来の公務に伴う式典や反省会など社会通念上飲酒を伴うこともあり得るとされている公務に限り、飲酒量等も社会通念の範囲内にあるという条件の下、公務として取り扱ってきた。本件場合は行事中の待機時における飲酒であり、当該行事自体は消防団本来の公務であるにしても、業務待機中の飲酒は社会通念上認められないため、本件の飲酒行為は公務からの逸脱又は公務の中断に該当すると考えられる。

しかし、災害発生はその後の行事開会式

中となっており、飲酒量もビール1杯・焼酎水割り1杯と多量とは言えず、開会式の1時間前には飲酒をやめており、「飲酒するな」とは言わず自己の責任に任せていたという上司の命令には著しく反してはいないと考えられるので、開会式に参加した時点で、公務へ復帰したと考えられる。

したがって、本件については公務遂行性が認められると判断する。

2 公務起因性について

これまで基金では、公務に伴い発生した失神でその原因が特定の疾患によらないもの（例えば、脳血管疾患や循環器系疾患によらないもの）については、①一定時間の起立中の失神など一般的に失神することがあり得る状況であったこと、②本人の疾患など（例えば、失神しやすいとされている低血圧症や低血糖症など）公務起因性を積極的に否定する要素がないこと、の2点の要件をいずれも満たしていれば、当該失神及び当該失神に起因する負傷に対し、公務災害として取り扱ってきた。本件の場合、①の要件を満たしていると考えられるが、②の要件については、飲酒が公務起因性を積極的に否定する要素に該当する可能性がある。

しかし、医学的知見によれば、その経験則上、被災団員が起こしたと医学的に推認される迷走神経反射性失神の場合、飲酒が

影響することはあるが、本件ほどの飲酒量とその状況であれば、夜勤明けで参加したことの方が影響がより大きいとこのことであった。この夜勤については、公務ではなく被災団員の仕事によるものではあるが、その後に公務がなければ就寝していたであろうし、そうすれば失神しなかったであろうと考えられる。つまり、失神の主原因は、飲酒ではなく、夜勤明けに起立していたことであると考えられる。加えて、下顎骨骨折についても、医学的知見によれば、迷走神経反射性失神に起因して起こり得るものであるとこのことであった。

なお、被災団員は過去に失神の経験がなく、また、その他公務起因性を積極的に否定する要素は見当たらない。

したがって、本件の迷走神経反射性失神は公務と相当因果関係をもって発生したことが明らかな疾病であり、下顎骨骨折は当該失神に起因すると考えられることから、公務起因性は認められると判断する。

3 結論

以上のことから、本件災害については、公務遂行性及び公務起因性のいずれも認められることから、公務と相当因果関係をもって発生したことが明らかな疾病に起因する負傷として公務上の災害に該当するものと判断したものである。